

ID \_\_\_\_\_ 患者氏名 \_\_\_\_\_ 様 (性別 \_\_\_\_\_)

身長 \_\_\_\_\_ cm 体重 \_\_\_\_\_ kg 年齢 \_\_\_\_\_ 歳 体表面積 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

HBs 抗原 (+ -) HBc 抗原 (+ -) HCV 抗体 (+ -)

薬剤	投与量	投与日	
		1 コース 4 週間	
		1 コース目	
		Day 1 2...8...15...22...29	
リツキシマブ	375 mg/m <sup>2</sup>	↓	
トレアキシシ	90 mg/m <sup>2</sup>	↓↓	

(リツキシマブ: 添付文書では併用療法時は最大 8 回)

レジメンオーダー以外に必要な処方

- コロナール(200) 2 錠、1× 1 日分 リツキシマブ投与前
- デキサメタゾン 8mg 2 日分 day3~4 (制吐目的)
- ニューモシスチス肺炎予防に ST 合剤 (ダイフェン) 投与を検討
- 腫瘍崩壊症候群のリスクが高い場合、フェブリク投与を検討

**注意事項**

リツキシマブ: インフュージョンリアクション (気管支痙攣, 蕁麻疹, 低血圧, 意識消失, ショックなど) に注意。  
前処置薬は必須 (抗ヒスタミン剤, 解熱鎮痛剤)、点滴速度に注意してください

**トレアキシシは調製後 3 時間以内に投与終了すること**

投与方法: 1 日目		
1	ケモセーフ点滴セット使用 生食 100mL、プライミング、ゆっくり (ルートキープ)	
2	コロナール(200) 2 錠 内服 <b>リツキシマブの 30 分前に</b>	
3	ボララミン注(5mg/1mL) 1A、生食 20mL、静注 下の側管から <b>リツキシマブの 30 分前に</b>	
4	<b>コロナール、ボララミン投与 30 分してから、メインルートをとめて、リツキシマブ開始</b> <b>リツキシマブ</b> _____ mg、生食、適量 (10 倍希釈以上、総量 600mL を超える場合は生食 1000mL を使用) 下の側管から投与 初回: 50mL/h から開始、患者の状態に変化がなければ、30 分毎に 50mL/h ずつ、最大 400mL/h までアップ可能 <b>速度変更時に体温、脈拍、血圧測定</b> 2 回目以降: 初回に有害事象が grade 2 以下の場合、2 回目以降は 100mL/h より開始し、30 分毎に 100mL/h ずつ、最大 400mL/h まで速度をあげることができる。 <b>速度変更時に体温、脈拍、血圧測定</b>	
5	1 の生食を使用し、ウォッシュアウト、ゆっくり、ルートキープ 15 分ほど リツキシマブの点滴速度を越えないこと、ルートキープをかねるため、生食全量を使用しないこと。	
6	アロキシ(0.75 mg/5 mL) 1V、デキサート(1.65 mg/0.5mL) 6A、生食 50mL、15 分で メインルートをとめて、下の側管から	
7	<b>トレアキシシ</b> _____ mg、注射用水 適量、生食 (250mL 製剤使用) 全量 250mL (トレアキシシ 100mg/注射用水 40mL、25mg/注射用水 10mL で溶解) <b>調製後 3 時間以内に投与終了すること</b> 1 時間かけて点滴 上の側管から投与 (生食 250mL と同時に開始)	生食 250mL 125mL/時で 下の側管から トレアキシシと同時に開始 トレアキシシが終わったら、ルートを ウォッシュアウトし、 適宜途中終了 可、残は破棄

投与方法：2日目

1	ケモセーフ点滴セット使用 生食 100mL、メインルートをプライミングし、止める	
2	デキサート(1.65 mg/0.5mL) 6A、生食 50mL、15分 で 下の側管から	
3	<u>トリアキシン</u> mg, 注射用水 適量、生食 (250mL 製剤使用) 全量 250mL (トリアキシン 100mg/注射用水 40mL、25mg/注射用水 10mL で溶解) 調製後 3 時間以内に投与終了すること 1 時間かけて点滴 上の側管から投与 (生食 250mL と同時に開始)	生食 250mL 125mL/時で 下の側管から トリアキシンと同時に開始  トリアキシンが終わったら、ルートを ウォッシュアウトし、 適宜途中終了 可、残は破棄